

An aerial photograph of a town, likely in Japan, showing a mix of residential areas with small houses, agricultural fields, and a railway line running vertically through the center. A river is visible in the upper right corner. The text is overlaid on the image.

ふーるどみゅーぜあず がみのかわ

行って・見て・考えて

上三川町教育委員会

「ふいーるど みゅーぜあむ かみのかわ」 を利用する皆様へ

「ふいーるど みゅーぜあむ かみのかわ」は平成8年に発刊以来、上三川町の文化財の解説書及び文化財マップとして多くの方々に利用されていますが、このたび、新たな内容を一部加え、再度発刊することとなりました。本書の名前の「Field Museum(ふいーるど みゅーぜあむ)」は‘野外博物館’という意味ですが、私達の身の回りには、多くの文化財があり、まさに野外博物館なのです。博物館の館内を一巡りすれば、新たな発見があるように、上三川町自体を博物館となぞらえて一巡りすれば、身近な場所にも今まで気づかなかった文化財はたくさんあるのです。そして、上三川町の中にも地域ごとに、特色があることに気づかれることと思います。

本書は内容的には、小学校高学年の皆様にもわかるように、やさしい言葉を使うようにしましたが、難しい言葉などは、お父さんやお母さんからご説明をお願いいたします。

町を良く知っている人も、初めていらっしゃった方も、この本を片手に町を散策すれば、上三川町が‘野外博物館’にふさわしい、魅力ある町であることをご理解していただけたらと思います。

平成15年3月

上三川町教育委員会

教育長 石井 皋

文化財を見るにあたって

上三川町には大昔からの文化財が数多くあります。自分たちの町にある文化財を知することは歴史を身近に感じさせ、郷土に対する関心を高めるものです。

このようなことから、上三川町の人たちや町外からの見学者の案内を目的に、上三川町を3つのコースにわけた史跡めぐりのガイドブックをつくりました。

※お願い

文化財はむかしの人々の生活を知るための大切な資料です。見学するときはルールをまもって正しく見学しましょう。

- ①文化財をこわさないようにしましょう。
- ②文化財の周りのたんぼや畑に入らないようにしましょう。
- ③私有地へ立ち入るときには、地主さんや近所の人にあいさつをしましょう。
- ④交通事故に気をつけましょう。
- ⑤感想をメモして、郷土の歴史を考えてみましょう。

※見学の時には

文化財を見学に行く時、特に屋外の古墳などを見に行く時には、長袖シャツ・ズボン・運動靴といった格好が良いでしょう。また、地図・カメラ・軍手をもって行くと便利です。

※もっとくわしく文化財について知りたい方に

次のような本が参考になります。いずれも町の図書館にありますので御活用下さい。

『上三川町の文化財』	上三川町教育委員会
『上三川町史』	上三川町史編さん委員会
『上三川町の伝説と民話』	上三川町文化財研究会
『続 上三川町の伝説と民話』	上三川町文化財研究会
『かみのかわ歴史百話』	上三川町教育委員会

上三川町ふるさとめぐりモデルコース

しらすぎ舞う

上三川コース

がい よう
概 要

上三川小学校を起点・終点としたコースです。上三川城とそれに関連したお寺や、古墳などを見ることができます。

(上三川小学校) → 白鷺神社^{しらさぎじんじや}③⑦ → 長泉寺^{ちやうせんじ}①・④② → 普門寺^{ふもんじ}③③・⑤④ → 善応寺^{ぜんのうじ}③④・④⑧ → 上三川城址公園 → 井戸川^{いどがわ}のケヤキ^{さかうえ こふんぐん}③⑥ → (坂上小学校) → 坂上古墳群^{さかうえ こふんぐん}⑤ → 野外石仏地蔵^{やがいせきぶつじぞう}③① → かぶと塚古墳石室^{づかこふんせきしつ}⑧ → 愛宕塚古墳石室^{あたごづかこふんせきしつ}④① → (上三川小学校)

せせらぎ聞こえる

本郷コース

がい よう
概 要

本郷小学校を起点・終点としたコースです。平安時代に開かれた満願寺^{まんがんじ}やねずみ観音^{かんのん}の伝説、磯川^{いそかわ}の自然などに触れることができます。

(本郷小学校) → 満福寺^{まんぶくじ}④③ → 満願寺^{まんがんじ}②・②⑤～②⑧・④⑨ → 高竈神社^{たかおじんじや}②⑨ → 西木代高竈神社^{にしきのしろたかおじんじや}②①・②② → 薬師堂^{やくしどう}②③・②④ → (本郷北小学校) → 上郷愛宕神社古墳^{かみごうあたごじんじやこふん}⑦ → 磯川遊歩道^{いそかわゆうほどう} → 上郷のヒイラギ^{かみごう}③⑧ → 上郷瓢箪塚古墳^{かみごうひょうたんづか}⑥ → ねずみ観音^{かんのん} → 上郷神社^{かみごうじんじや}①③・⑤① → (本郷小学校)

ゆうがおの里

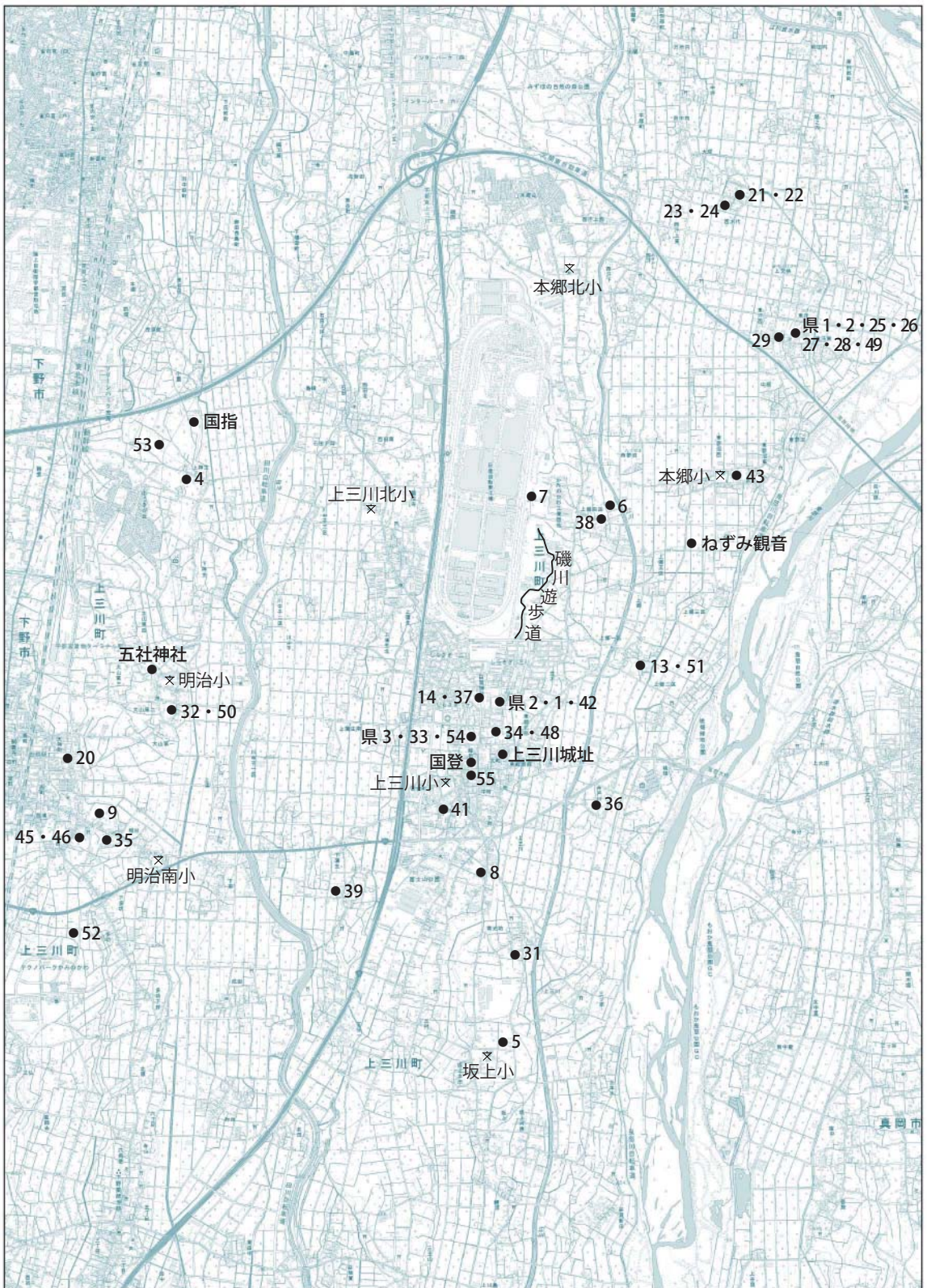
明治コース

がい よう
概 要

明治小学校を起点・終点としたコースです。大きな古墳がまとまっている神主古墳群^{こうぬしこふんぐん}や、多功城関係の遺跡^{きつねづかこふん}を見ることができます。

(明治小学校・明治北小学校) → 神主古墳群^{こうぬしこふんぐん} (狐塚古墳^{きつねづかこふん}⑤③・浅間神社古墳^{せんげんじんじやこふん}・後志部古墳^{うしろしべこふん}④④) → 上神主^{かみこうぬし}・茂原官衙遺跡^{もばらかんがいせき} → 多功天満宮^{たこうてんまんぐう}②⑩ → 宝光院^{ほうこういん}④⑤・④⑥ → 見性寺^{けんしょうじ}③⑤ → 多功城址^{たこうじょうし}⑨ → (明治南小学校) → 浄光寺^{じやうこうじ}③②・⑤⑩ → 五社神社^{ごしゃじんじや} → (明治小学校)

上三川町文化財地図



※地図・本文見出しの番号は、25・26 頁の文化財指定番号を用いています。

しらさぎ舞う

上三川コース





モデルコース

(上三川小学校)→白鷺神社→長泉寺→普門寺
善応寺→上三川城址公園→井戸川のケヤキ→(坂上小学)
坂上古墳群→野外石仏地蔵→かぶと塚古墳石室
愛宕塚古墳石室→(上三川小学校)

上三川コース

ふもんじ 普門寺 (県3)・(33)・(54)

普門寺は室町時代に開かれたといわれるお寺です。

境内には、樹齢約300年といわれるイチョウがあり、また、江戸時代の駕籠が保管されています。



しらさぎじんじや 白鷺神社 (37)

白鷺神社は1000年以上前にまつられたといわれる古い神社です。市街地のそばにありながら静かなたたずまいを見せています。

神社には今は採掘禁止になっている日光石で造られた鳥居があり、また、4月15日と11月16日には神楽が行われます。



かみのかわじょう し こうえん 上三川城址公園

上三川城は建長元年（1249）に築かれ、
慶長2年（1597）に落城するまで約350年
続いた城です。本丸の土塁や堀はよく残り、
公園として整備されています。



初代	横田 頼業（よりなり）	上三川城を築く（1249）
二代	時業（ときなり）	
三代	親業（ちかなり）	正清寺を建てる（1325）
四代	泰業（やすなり）	
五代	貞朝（さだとも）	善応寺を建てる（1319）
六代	泰朝（やすとも）	
七代	師綱（もろつな）	茂原の戦いに出陣（1380）
八代	綱業（つななり）	
九代	綱俊（つなとし）	
十代	今泉 盛朝（もりとも）	長泉寺を建てる（1505）
十一代	盛泰（もりやす）	
十二代	盛高（もりたか）	
十三代	泰高（やすたか）	
十四代	泰光（やすみつ）	
十五代	高光（たかみつ）	上三川城落城（1597）

上三川城主のうつりかわり（上三川町史による）

ぜん のう じ 善 応 寺（34）・（48）

このお寺は元応2年（1319）上三川城主横
田氏により建てられたといわれています。

本尊の釈迦如来坐像は、鎌倉時代に作られ
たものです。境内には上三川城主横田家の墓
があります。



ちようせん じ 長 泉 寺（県2）・（1）・（42）

このお寺は永正元年（1504）上三川城主
今泉氏により建てられたといわれています。

本尊十一面観音は鎌倉時代の作です。境
内には推定樹齢約500年のコウヤマキや、上
三川城主今泉家の墓などがあります。



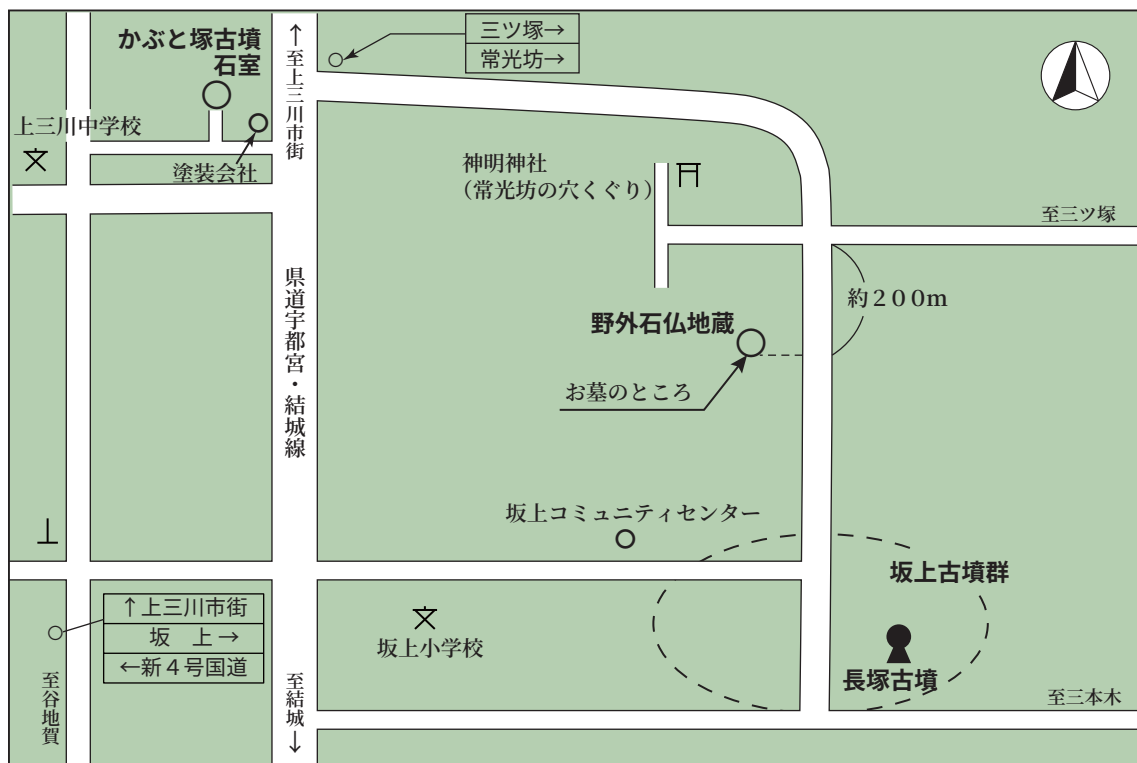
い ど が わ 井戸川のケヤキ (36)

この木は珍しい形をしています。地上1mのあたりで3本の木がくっつき、一見1本の木のようにも見えます。さらに西側の1枝が3.5mも離れた別のケヤキとついています。



さかうえ こ ふんぐん 坂上古墳群 (5)

この古墳群は、6世紀の古墳で、23基の古墳がとなりあうように残っています。現在残っている古墳のうち、最も大きい^{ながづか こふん}長塚古墳は南東を向いた^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳で、全長が42mあります。



やがいせきぶつ じぞう 野外石仏地蔵 (31)

この地蔵は、姿の良い町内最大の野外石仏です。
いい伝えによれば、むかし普門寺^{ふもんじ}の東にあった三
体の地蔵の一つで、明治時代の初め廃仏棄釈^{はいぶつきしやく}によ
り破壊されることを恐れた当時の人々が常光坊・
東館^{ひがしだて}・桃畑^{ももはた}に各一体ずつ移したものとされて
います。



はいぶつきしやく 廃仏棄釈

明治時代に政府の命令によって行われた
仏教排斥運動。
各地で多くのお寺や仏像がこわされた。



づか こ ふんせきしつ かぶと塚古墳石室 (8)

かぶと塚は6世紀の直径約40mの円墳で、姿
が兜^{かぶと}に似ていたことから、この名がつけられたと
われています。

古墳の土は長い間に取り除かれ、今では大きな
石を組み合わせた石室がむき出しになっています。



あた ご づか こ ふんせきしつ 愛宕塚古墳石室 (41)

この石室は、昔この地にあった直径約40mの
愛宕塚古墳^{よこあなしきせきしつ}の横穴式石室で、6世紀に造られたと
考えられます。

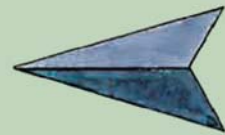
古墳の土は長い間に取り除かれ、石室はこわれ
て埋まってしまいましたが、その後掘りだされ、
30mほど北に移転・復元されました。



せせらぎ聞こえる 本郷コース

にしきのしろたか お じんじゃ こ ぶん
西木代高麗神社古墳

やく し どう せき どう
薬師堂・石幢
江戸時代の信仰を伝える



至宇都宮

県道二宮・宇都宮線



本郷北小学校

汗十字路

県道雀宮・真岡線

至雀宮

龍の口
(磯川の水源)

あたご じんじゃ こ ぶん
愛宕神社古墳
8月24 日子供相撲



かみごうひょうたんづか こ ぶん
上郷瓢箪塚古墳

農協
本郷倉庫



本郷中学校

農協
本郷支所

まんぶく じ
満福寺
イチョウの古木



本郷小学校

まんがん じ
満願寺
建物をはじめ、数多くの
文化財が残る



たかお じんじゃ
高麗神社
古本アカガシ

至真岡
(宮岡橋)

蓼沼緑地公園

至岡本・宇都宮



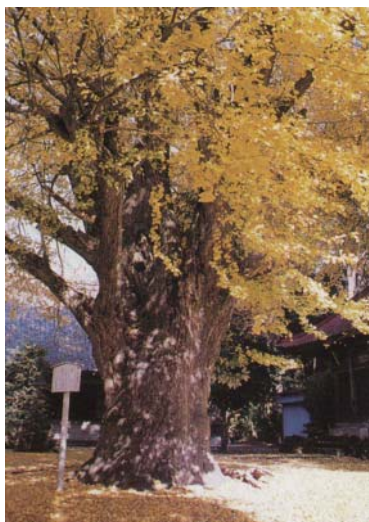
モデルコース

(本郷小学校)→満福寺→満願寺・高竈神社→西木代高竈神社→
薬師堂→(本郷北小学校)→龍の口→
上郷愛宕神社古墳→磯川遊歩道→上郷のヒイラ→上郷瓢箪塚古墳
ねずみ観音→上郷神社→(本郷小学校)

本郷コース

満福寺 (43)

満福寺本堂正面には、大きなイチョウの木があります。この木は樹齢350年ともいわれ、町内でも大きなイチョウの木です。



上郷愛宕神社古墳 (7)

愛宕神社古墳は6世紀に造られた円墳で、墳丘の直径は42m、高さは約5mあります。

古墳の上には愛宕神社がまつられており、8月24日には子供相撲が行われています。



かみごう

上郷のヒイラギ (38)

上郷の仁平さんのお宅にあるヒイラギは、樹齢 250 年という古い木ですが、今も元気でよい香りの花をつけます。

古木であるため、ヒイラギ特有の葉のとげがほとんどなくなっています。



かみごうじんじゃ

上郷神社 (13)・(51)

うっそうとした森に包まれたこの神社は、古くから近隣の信仰の対象になっています。

今でも 11 月 15 日のお祭りには神楽が行われます。

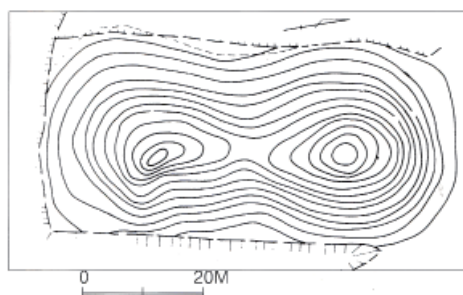


かみごうひょうたんづか こふん

上郷瓢箪塚古墳 (6)

上郷瓢箪塚古墳は 6 世紀に造られた、南向きの前方後円墳ぜんぽうこうえんふんです。大きさは全長 68 m あり、町内でも最も大きい古墳です。

この地域では「御陵地」ごりょうちと呼ばれ尊ばれています。



上郷瓢箪塚古墳を上から見た図（「栃木県史」より）

〔ねずみ観音〕

昔むかし、馬になりたいと願うねずみがいました。ある夜、夢でおじょう様がねずみに、こうおっしゃいました。「35 日間休まずに、私に世の中のことを教えてくれたら、お前の願いをかなえよう。」そこでねずみは毎日せっせとおじょう様にお供え物を運んでは、世の中のできごとを教えました。

ところが、いよいよ願いがかなうという日、ねずみはうれしくて興奮のあまり、通りかかった女の子のお菓子をうばい、おじょう様に供えて「早く馬にしてください。」とたのみました。おじょう様はだまっとうなずくと「よろしい今すぐ馬にしてあげよう。」とおっしゃいました。

喜んだねずみは、馬になったつもりで小川をのぞきました。するとどうでしょう。その顔はたしかに馬なのですが、体は今までどおりの小さなねずみのままだったのです。ねずみははばかりのさのあまり、体をかくして、おじょう様の後の石をほり続け、とうとう死んでしまいました。

それをあわれに思ったおじょう様は、死んだねずみを馬頭観音ばとうかんのんの姿にかえておじょう様とともに人々や馬の幸せを守るようにしました。

まん がん じ
満願寺 (県1)・(2)・(25) ~ (28)・(49)

満願寺には本尊薬師如来坐像をはじめ、平安時代から鎌倉時代にかけての多くの仏像があり、このころにかなり大きなお寺として建てられたと考えられます。このお寺には数多くの文化財が残されています。

ろうもん 楼門① 二階造りの門。江戸時代初めの建物。

やくしどう 薬師堂② 江戸時代中頃の建物。

えま 絵馬③ 町内最大級の江戸時代の絵馬。

カヤ 齢約 500 年。栃木県名木百選にも選ばれました。



①



②



③



薬師如来（やくしによらい） 阿弥陀如来（あみだによらい）



天部（てんぶ） 不動明王（ふどうみょうおう）



日光菩薩（にっこうぼさつ）と月光菩薩（がっこうぼさつ）



仁王（におう） 仁王（におう）

仏様のかお

たか お じん じゃ ひがしふざかし
高麗神社 (東汗) (29)

満願寺と地続きの高麗神社の境内にあるアカガシは、樹齢230年の古木で、鳥居におおいかぶさるように茂っています。



たか お じん じゃ こ ふん にしきのしろ
高麗神社古墳 (西木代) (21)

この古墳はかなり変形していますが、埴輪をもつことがわかっており、6世紀頃の古墳と考えられています。



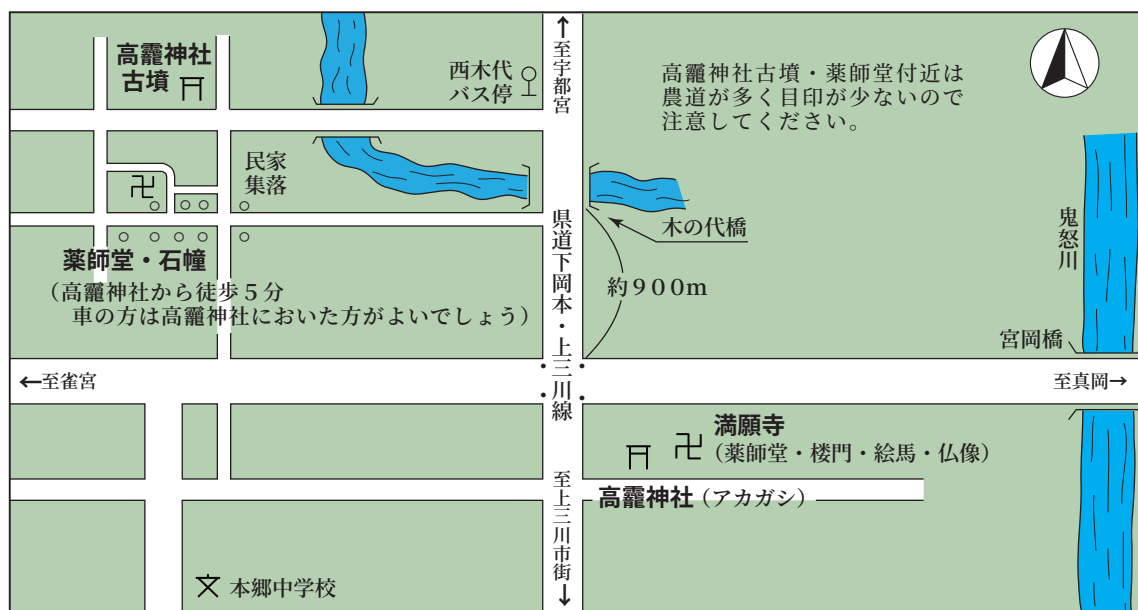
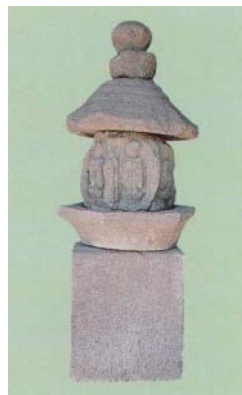
やく し どう
薬師堂 (西木代) (23)

三間堂 (柱と柱の間が三つある建物) で、軒をささえる組みものが柱の上ばかりでなく、柱と柱の間にもあるのが特徴です。江戸時代中期頃の建物と考えられます。



せき どう
石幢 (24)

石幢とは石塔の一種で、この石幢は石燈籠のような形をしています。町内でも数少ない貴重なもので、むかしこの地方に六地藏信仰があったことを示しています。



ゆうがおの里 明治コース

かみこうぬし も ばらかんが い せき
上神主・茂原官衙遺跡

奈良時代の河内郡の
役所の跡



きつねづかこふん
狐塚古墳

せんげんじんじゃこふん
浅間神社古墳

町内最大の円墳

神主 古墳群

うしろしべこふん
後志部古墳

きれいな前方後円墳

● シーボン化粧品

● 日本たばこ

● 上三川霊園

宇都宮貨物ターミナル

県道羽生田・上蒲生線

おおやまごしやじんじゃ
大山五社神社

明治小学校

明治中学校

至上三川市街

至上三川市街

田川

上三川北小学校

県道宇都宮・結城線

至宇都宮

至おもちゃのまち



明治コース

せんげんじんじゃ こ ふん 浅間神社古墳

浅間神社古墳は5世紀に造られた、直径約58mの円墳です。発掘調査の結果、県内最古の大型円墳であることがわかりました。古墳の上には浅間神社がまつられており、「浅間山古墳」とも呼ばれています。

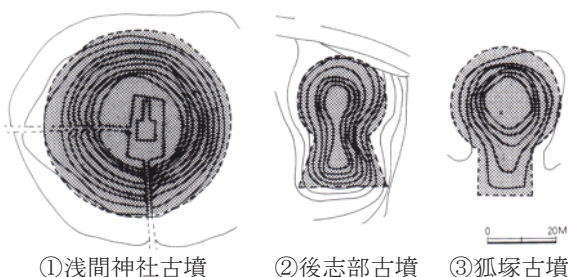


きつねづか こ ふん 狐塚古墳 (53)

狐塚古墳は6世紀に造られた、前方部のやや短い、全長41mの前方後円墳です。発掘調査が行われ、日本でも数少ない人面付円筒埴輪などが見つかっています。

うしろしべ こ ふん 後志部古墳 (4)

後志部古墳は6世紀に造られた前方後円墳で、全長は46mあります。この古墳の周りには5つの小さな古墳が残っており、後志部古墳群として町の史跡に指定されています。

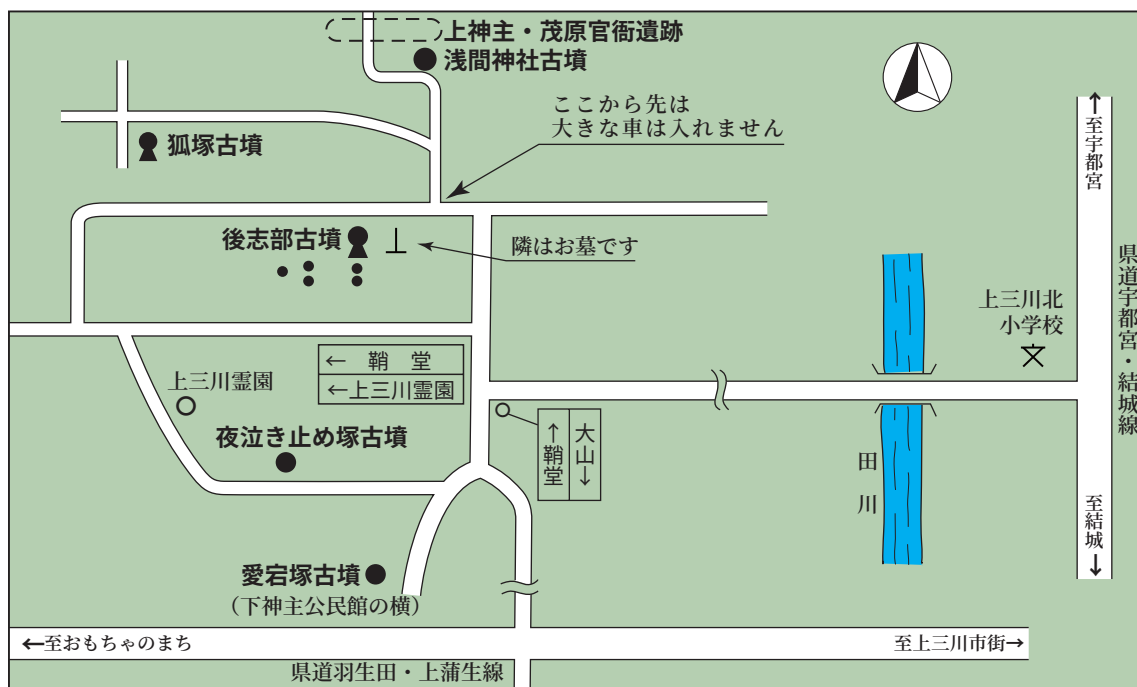


円墳…①

上から見ると、丸い形をしています。

前方後円墳…②・③

丸と四角を組合わせた形をしています。



かみこうぬし も ばらかん が い せき
上神主・茂原官衙遺跡 (国指)

この遺跡からは奈良時代(8世紀)のものと思われる瓦がたくさん見つかっています。その中には全国的に見ても珍しいほど多くの人名瓦(人の名をへらなどで刻んだ瓦)がありました。また、東山道と考えられる道路が切り通しになって残っています。この遺跡は河内郡の役所の跡と考えられます。



た こうはい じ し
多功廃寺址 (20)

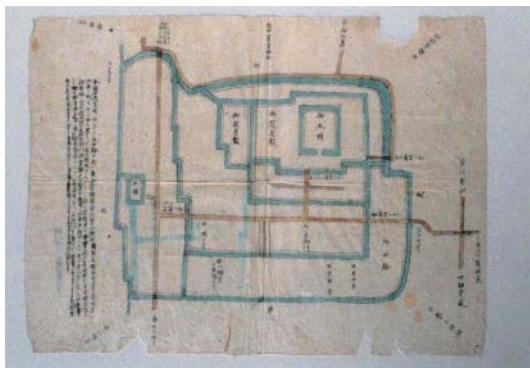
この遺跡からは、奈良時代(8世紀)のものと思われる瓦が見つかっています。

多功天満宮の境内には、付近から見つかった礎石が残っており、大きな建物が建っていたことがわかります。



多功城址 (9)

多功城址は宝治2年(1248)に宇都宮南方の固めとして多功石見守宗朝によって築かれ、慶長2年(1597)豊臣秀吉によって領地を没収されるまで349年続いた城です。
本丸跡の北側から西側と東側の土塁、堀の一部が残っています。



初代	多功 宗朝 (むねとも)	多功城を築く (1248)
二代	家朝 (いえとも)	
三代	朝継 (ともつぐ)	
四代	朝経 (ともつね)	
五代	景宗 (かげむね)	
六代	宗秀 (むねひで)	
七代	宗冬 (むねふゆ)	茂原の戦いに出陣 (1380)
八代	満朝 (みつとも)	
九代	長朝 (ながとも)	
十代	昌綱 (まさつな)	
十一代	建綱 (たけつな)	
十二代	綱房 (つなふさ)	
十三代	興房 (おきふさ)	
十四代	建昌 (たけまさ)	
十五代	長朝 (ながとも)	五月女坂の戦いに出陣 (1549)
十六代	房朝 (ふさとも)	
十七代	秀朝 (ひでとも)	多功城廃城 (1597)

多功城主のうつりかわり (上三川町史による)

茂原の戦い	宇都宮基綱と小山義政が宇都宮市茂原で戦った合戦
五月女坂の戦い	宇都宮尚綱と那須高資がさくら市五月女坂で戦った合戦

見性寺 (35)

見性寺は、初代多功城主多功宗朝が建てたといわれる、多功城主の菩提寺です。本堂左手奥には、多功城主の墓が整然と並んでいます。



宝光院 (45)・(46)

このお寺の本尊薬師如来坐像は、秘仏となっていたため普段は見られませんが、鎌倉時代の代表的な鉄仏です。また、このお寺には鎌倉時代の大きな板碑が保管されています。



浄光寺 (32)・(50)

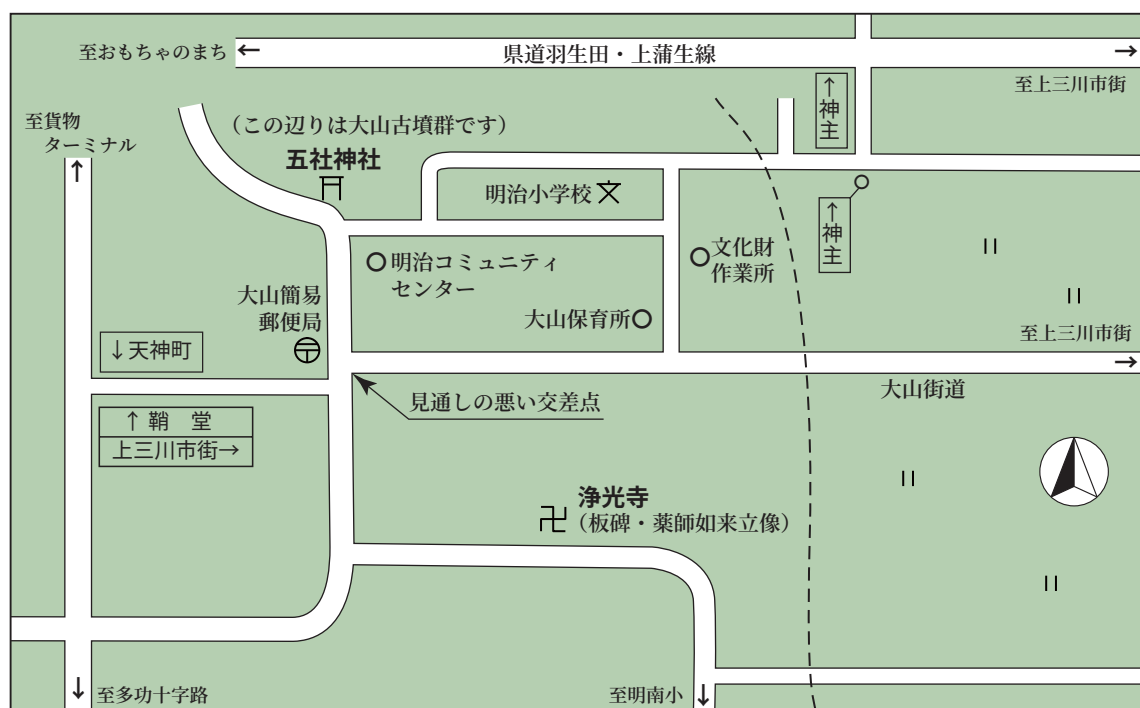
このお寺の境内には、鎌倉時代の大きな板碑2基と、鎌倉時代の薬師如来が保管されています。板碑は時宗の信者により建てられた供養塔と考えられます。



五社神社

五社神社は多功城の守りとして五つの神様をまつたことから、その名が付いたと言われています。

五社神社の付近は大山古墳群と呼ばれ、たくさんの古墳がありますが、神社のある場所も古墳であると言われています。



郷土の偉人

—科学的農業を開いた—

たむらにざえもんよししげ 田村仁左衛門吉茂

田村仁左衛門吉茂は、江戸時代も終わり頃の寛政3年（1791）河内郡下蒲生村（今の上三川町下蒲生）の代々名主をつとめる家に生まれました。

子供の頃からあまり勉強が好きではなかった吉茂でしたが、農業の仕事には一生懸命取り組みました。

ある年、吉茂の家の苗代が猪に踏み荒らされ苗が足りなくなったことがありました。しかたなく残った苗を広い田に少しずつ植えて田植えをすませました。ところが秋になると、田村家の稲の实りは他の田よりずっとよかったです。

このことをきっかけに、吉茂は稲の薄植えが収穫を高めたのではないかと考え、少しでも収穫を高めようと作り方を研究しました。

稲だけでなく、麦・大豆・あわ・サツマイモなどについても研究し、種の選び方、種まきの時期、肥料のやりかたなども本で調べたり、実験したりして確かめていきました。そして、これらのことを「農業自得」という一冊の本にまとめました。



江戸時代の農業は技術があまり進んでいなかったため、冷夏、ひでりなどの天候によって凶作になることが多かったのですが、この吉茂の教えのために近くの村ではひどい凶作にはならないですんだということです。

今も下蒲生の田村さんのお宅には、この「農業自得」の原本と版木が残されています。



上三川町文化財年表

時代	年代	上三川町の文化財	栃木県の歩み	日本の動き
旧石器		◎上三川町に人が住み始める 殿山遺跡など		○牛川人＝愛知県 ○三ヶ日人＝静岡県
縄文	約 1 万年前	◎ムラがつくられるようになる 島田遺跡など	○大谷寺岩陰遺跡 ＝宇都宮市 ○寺野東遺跡 ＝小山市	○三内丸山遺跡＝青森県 ○吉野ヶ里遺跡＝佐賀県 ○卑弥呼女王となる
弥生	前 3 世紀 ～ 後 3 世紀	◎米をつくり始める 仏沼遺跡など		
古墳	4 ～ 7 世紀	たくさんの古墳が造られる 後志部古墳 坂上古墳群 上郷瓢箪塚古墳 愛宕神社古墳 浅間神社古墳 高轟神社古墳 かぶと塚古墳石室 愛宕神社古墳石室	○侍塚古墳 ＝大田原市 ○琵琶塚古墳 ＝小山市 ○下野国府跡 ＝栃木市 ○下野薬師寺跡 ＝下野市 ○下野国分寺・国分 尼寺が建立される ○勝道上人が日光を開く ○道鏡薬師寺に流される	○仏教伝来 (538) ○聖徳太子の摂政始まる (593) ○十七条の憲法制定 (604) ○大化の改新 (645) ○壬申の乱 (672) ○大宝律令完成 (701) ○奈良に都が造られる (710) ○東大寺大仏が造られる (752) ○京都に都が造られる (794) ○藤原氏の摂関政治 ○保元の乱 (1156) ○平治の乱 (1159) ○鎌倉に幕府が開かれる (1192)
奈良		◎瓦を使った寺や役所が建てられる 多功廃寺 上神主・茂原官衙遺跡	○宇都宮城築城	○鎌倉幕府滅亡 (1333) ○室町に幕府が開かれる (1338)
平安		薬師如来坐像 (満願寺) 阿弥陀如来坐像 (満願寺)		○金閣寺が造られる ○応仁の乱 (1467) ○鉄砲伝来 (1543) ○キリスト教伝来 (1549) ○江戸に幕府が開かれる (1603)
鎌倉	1 2 4 8 1 2 4 9 1 3 1 3 1 3 1 5 1 3 2 9	多功城建城 上三川城建城 板碑 (浄光寺) 板碑 (〃) 板碑 (宝光院) 鉄仏薬師如来坐像 (宝光院)		
室町	1 5 9 7 1 5 9 7 1 6 0 1	上三川城落城 多功城廃城 川中子村年貢割付状 駕籠 (普門寺) 楼門 (満願寺)	○宇都宮氏滅ぶ	
江戸	1 7 0 3 1 7 1 6 1 7 1 8 1 8 4 1	鳥居 (白鷺神社) 薬師堂 (満願寺) 絵 馬 (〃) 薬師堂 (西木代) 「農業自得」の原本と版木	○日光東照宮造られる ○二宮尊徳、烏山藩 領の復興を図る	

上三川町指定等文化財一覧

指定 番号等	指定年月日	種類	物件（指定）名称	所在地	所有者 管理者
国指定 (国指)	H15. 8. 27 指定	史跡	上神主・茂原官衙遺跡	大字上神主ほか	上三川町
県 指 定	1 S42. 4. 7 指定	有形文化財	木造阿弥陀如来坐像	大字東汗	満願寺
	2 H2. 1. 26 指定	〃	木造十一面観音菩薩坐像	しらさぎ	長泉寺
	3 H20. 2. 1 指定	天然記念物	普門寺のお葉付き・ラッパ・斑入りイチョウ	大字上三川	普門寺
1	S43. 4. 1 指定	天然記念物	長泉寺のコウヤマキ	しらさぎ	長泉寺
2	〃	〃	満願寺のカヤ	大字東汗	満願寺
4	〃	史跡	後志部古墳群	大字上神主	上神主自治会
5	〃	〃	坂上古墳群	大字坂上	坂上本田自治会
6	〃	〃	上郷瓢箪塚古墳	大字上郷	個人
7	〃	〃	愛宕神社古墳	大字上郷	愛宕神社
8	〃	〃	かぶと塚古墳石室	大字上三川	個人
9	S46. 4. 1 指定	〃	多功城址	大字多功	個人
10	〃	有形文化財	「農業自得」の原本と版木	大字下蒲生	個人
11	〃	民俗文化財	五段ばやし	しらさぎ	個人
12	〃	〃	〃	大字西蓼沼	個人
13	〃	〃	神楽（吉田流）	大字上郷	上郷神社
14	〃	〃	〃	しらさぎ	白鷺神社
17	〃	有形文化財	刀兼則作	大字上三川	個人
20	S47. 12. 1 指定	史跡	多功廃寺址と礎石	天神町	天満宮
21	〃	〃	高靄神社古墳	大字西木代	高靄神社
22	〃	民俗文化財	天棚	〃	西木代自治会
23	〃	有形文化財	薬師堂	〃	〃
24	〃	民俗文化財	石幢	〃	〃
25	〃	有形文化財	楼門	大字東汗	満願寺
26	〃	〃	薬師堂	〃	〃
27	〃	〃	薬師三尊像	〃	〃
28	〃	〃	絵馬	〃	〃
29	〃	天然記念物	高靄神社のアカガシ	〃	高靄神社
30	S49. 11. 15 指定	民俗文化財	橋本新清流五段ばやし	大字上郷	個人
31	S50. 3. 10 指定	有形文化財	野外石仏地蔵	大字上三川	常光坊自治会
32	〃	〃	板碑	大字大山	浄光寺
33	〃	〃	駕籠	大字上三川	普門寺

指定 番号等	指定年月日	種類	物件（指定）名称	所在地	所有者 管理者
34	S50. 3. 10 指定	史跡	上三川城主横田家累代の墓	大字上三川	善応寺
35	〃	〃	多功城主多功家累代の墓	大字多功	見性寺
36	〃	天然記念物	井戸川のケヤキ	大字上三川	個人
37	〃	有形文化財	鳥居	しらさぎ	白鷺神社
38	S51. 4. 20 指定	天然記念物	上郷のヒイラギ	大字上郷	個人
39	〃	〃	下蒲生のカヤ	大字下蒲生	個人
41	〃	史跡	愛宕塚古墳石室	大字上三川	上三川町
42	〃	〃	上三川城主今泉家累代の墓	しらさぎ	長泉寺
43	S59. 4. 1 指定	天然記念物	満福寺のイチョウ	大字東蓼沼	満福寺
45	〃	有形文化財	薬師如来坐像	大字多功	宝光院
46	〃	〃	板碑	〃	〃
47	〃	〃	川中子村年貢割付状	大字川中子	個人
48	H 元 . 4. 1 指定	〃	釈迦如来坐像	大字上三川	善応寺
49	〃	〃	不動明王立像・天部立像	大字東汗	満願寺
50	H7. 9. 29 指定	〃	薬師如来立像	大字大山	浄光寺
51	H10. 7. 27 指定	〃	鰐口	大字上郷	上郷神社
52	〃	史跡	多功大塚山古墳	大字多功	個人
53	〃	〃	上神主狐塚古墳	大字上神主	個人
54	H19. 10. 30 指定	有形文化財	絹本著色南無観世音菩薩像 荒井寛方 筆	大字上三川	普門寺
55	〃	有形文化財	旧上三川町道路元標	大字上三川	上三川町
国登録 (国登)	H18. 3. 2 登録	国登録 有形文化財	生沼家住宅店舗及び主屋 生沼家土蔵	大字上三川	個人

指定文化財種類別件数

国指定史跡..... 1 件

栃木県指定文化財.....総数 3 件

有形文化財 2 件

天然記念物 1 件

上三川町指定文化財.....総数 46 件

有形文化財 18 件

民俗文化財 7 件

史跡 14 件

天然記念物 7 件

国登録有形文化財..... 1 件

上三川町民憲章

昭和51年11月13日制定

わたくしたちは、上三川町民であることに誇りをもち、さらに、一層の発展をめざし、明るく住みよい郷土を築くため、この憲章を定めます。

一 心身をきたえ、教養を深め、

文化の高い町をつくりましょう

一 郷土を愛し、環境をととのえ、

住みよい町をつくりましょう

一 互いに励まし、心をふれあい、

明るい町をつくりましょう

一 勤労をとうとび、産業をさかんにし、

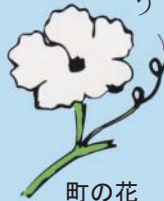
豊かな町をつくりましょう

一 きまりを守り、よい家庭を築き、

平和な町をつくりましょう



町の鳥
しらさぎ



町の花
ゆうがお



町の木 いちょう

平成15年3月31日

上三川町教育委員会